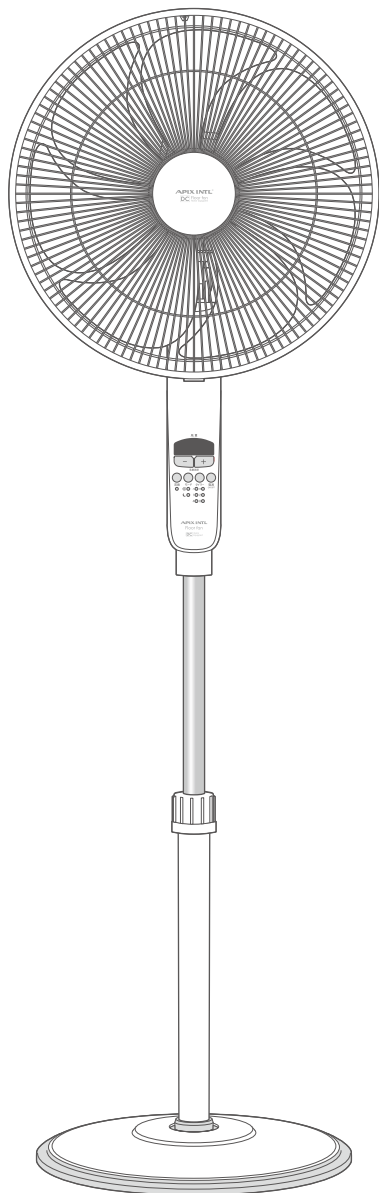


取扱説明書



リモコン

DC FLOOR FAN

DCフロー一扇風機

品番

AFL-282R

DCとは…直流モーターを示します

- この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ごさいます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 取扱説明書及び保証書は大切に保管し、いつでも見られるようにしてください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意	1-2
各部のなまえ	3-4
組み立てかた	5-6
ご使用方法	7-8
お手入れ	9-10
保管について	10
故障かな?と思ったら	11
仕様	12
アフターサービス	13
MEMO	14
保証書	裏表紙

保証書付

この取扱説明書(裏表紙)には保証書がついています。必ず捺印をお受けください。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。


This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country.


安全上のご注意



必ずお守りください!



ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。

以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

図記号の例   記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

  記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

- 本製品は修理、分解、改造を絶対にしないでください。
発火したり、異常動作で感電したり、ケガをする恐れがあります。
- 本体内の機械部や隙間にピンや金属等の異物を入れないでください。
感電・ショートなどの原因になります。
- 本体に水をかけないでください。高温多湿で水のかかる恐れのある場所では使用しないでください。
感電・ショートなどの原因になります。
- 電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。
感電・火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったりたばねたりしないでください。
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
感電・火災の原因になります。他の器具と併用すると、分岐コンセント部分が異常発熱して発火することがあります。
- 電源プラグに付着した汚れやほこりなどは、定期的に取り除いてください。
汚れやほこりが残ったまま使用すると、異常発熱したり故障の原因になります。
- 海外では使用しないでください。
日本国内のAC100V電源以外で使用すると、感電・火災の原因になります。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



禁止



プラグを抜く

- お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
感電・ショート・ケガの原因になります。

⚠ 注意

- 水平でない場所や不安定な場所、振動のある場所や棚の上など高所に設置しないでください。
本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。
- 動作に異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
感電・ショートする恐れがあります。電源プラグを抜き、弊社アフターサービスにご連絡ください。▶13ページ参照
- 風を長時間、直接身体に当てないでください。
健康を害する恐れがあります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。
- たたいたり、落としたり、強い衝撃をあてないでください。
故障・ケガの原因になります。
- 小さなお子様だけの使用や、幼児の手の届くところでは使わないでください。
感電・ケガをする恐れがあります。
- 次の場所では使用しないでください。
発火して火災や爆発の原因になります。 ・ ガスレンジやストーブ等の炎の近く ・ 引火性のあるガスや液体の近く
・ 雨や水がかかるところ ・ ほこりや金属粉の多い場所 ・ 油などの多い場所
- 障害物(カーテン等)が周囲を遮る場所では使用しないでください。
障害物が送風口を遮り、故障・事故の原因になります。
- 衣類や布等を本体にかぶせないでください。
故障・事故の原因になります。
- 風に吸い込まれやすいもの(紙・ひも)の近くで運転しないでください。
吸いこまれたものが可燃性の場合、発火する恐れがあります。
- ガード内やモーター可動部に指などを入れないでください。
ケガをする恐れがあります。特に小さなお子様はふれないよう注意してください。
- 異常な振動が生じた場合は運転しないでください。
振動によって転倒や、高所から落下してケガをする恐れがあります。
ガードや羽根の取り付けが悪い場合は、再度正しく取り付けてください。
- お手入れの際は、本体を水洗いしないでください。
故障の原因になります。
- 本体を横にねかせて使用したり、スタンドベースをつけずに電源を入れて運転させないでください。
故障・事故の原因になります。
- お手入れの際は、ベンジンやシンナー、アルコールなどを使用しないでください。
火災・故障の原因になります。
- 組立前に電源を入れたり、羽根・ガードをつけずに運転しないでください。
故障・事故の原因になります。
- ガードにテープやシールなどを貼らないでください。
故障・事故や異音の原因になります。
- 本製品は室内用及び家庭用です。屋外や業務目的で使用しないでください。
故障の原因になります。



禁止



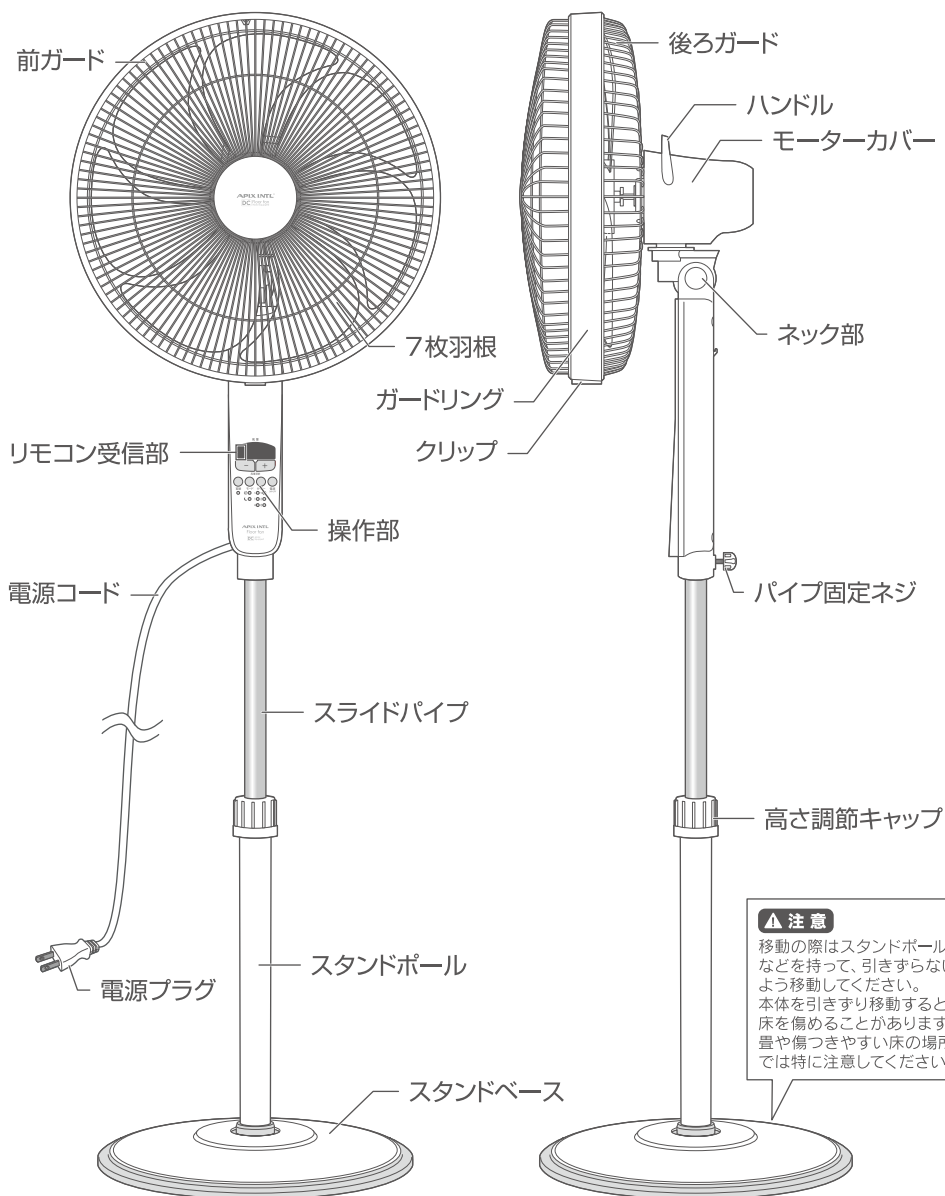
プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。
電源プラグのホコリなどは定期的に取り除いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。

各部のなまえ

正面図

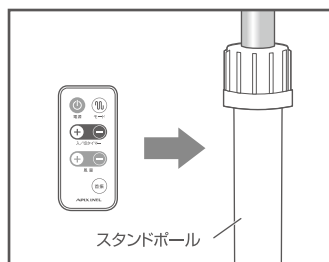
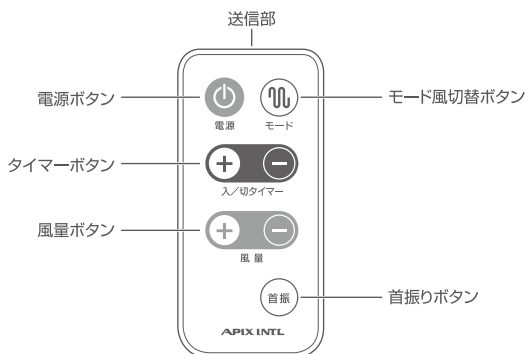
側面図



※本取説に掲載されているイラストと実際の商品は、若干異なる場合があります。

各部のなまえ(つづき)

リモコン



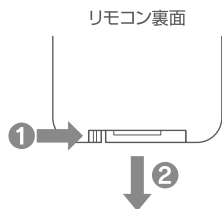
リモコンは背面にマグネットが内蔵されており、スタンドポールの任意の場所に貼り付けることができます。

■リモコンに電池を入れる場合や、交換時は次のようにおこなってください。

付属のボタン電池はモニター用ですので寿命が短い場合があります。

早めに新しい電池と交換することをお勧めします。

1 電池トレイを取り出す



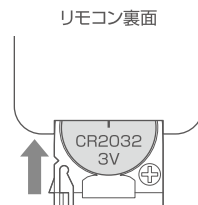
ツメで①を矢印の方向に押しながら②の方向へ引いてください。

2 電池を電池トレイに入れる



＋面を上にしてボタンを入れる。

3 電池トレイを取り付ける



元の方向に戻す。

⚠ リモコンに関するご注意

- 本体との距離が3m以内の場所から、本体リモコン受信部に向けてボタンを押してください。本体とリモコンの間に障害物など遮るものがあると、リモコンが正しく動作しないことがあります。
- 電池が消耗してくると、正しく動作しないことがあります。その時は新しい電池と交換してください。
- リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。故障やショートの原因になります。

⚠ 電池に関するご注意

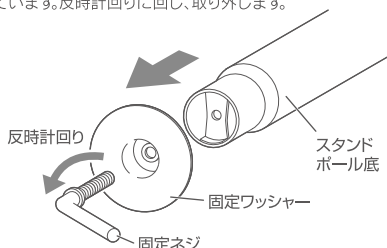
- 電池は、使い方を誤ると電池の液漏れなどにより製品が腐蝕したり、電池が破損したりする恐れがあります。
- 電池は必ず＋を確認して正しく入れてください。
- 電池は、充電、分解、改造、加熱しないでください。また指定の電池以外はいれしないでください。
- 電池を交換する際は、新しい電池と交換してください。古くなった電池を使用しないでください。
- 使い終わった電池は、お近くの電池回収箱設置所に持っていか、各地域の自治体の指示に従って処理をしてください。
- シーズン終了時には必ず電池を抜いて保管してください。

組み立てかた

1. 本体を組み立てる

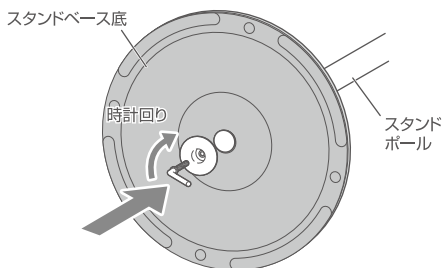
① スタンドポール底の固定ネジを外す

出荷時はスタンドポール底に固定ネジ、固定ワッシャーがついています。反時計回りに回し、取り外します。



② スタンドベースにスタンドポールを固定する

スタンドベースにスタンドポールを差し込み、底面から固定ネジ固定ワッシャーでしっかりと固定します。

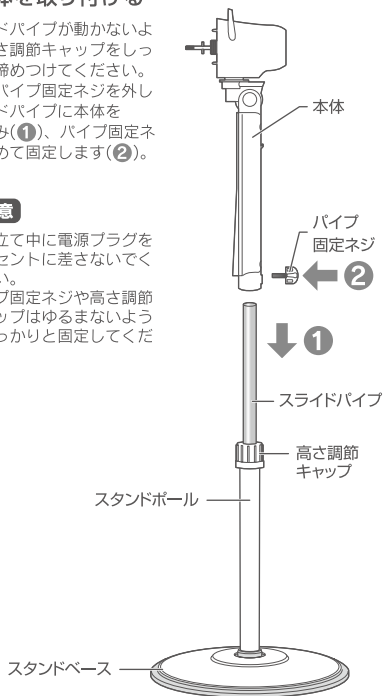


③ 本体を取り付ける

スライドパイプが動かないように高さ調節キャップをしっかりと締めつけてください。本体のパイプ固定ネジを外しスライドパイプに本体を差し込み(①)、パイプ固定ネジをはめて固定します(②)。

▲ 注意

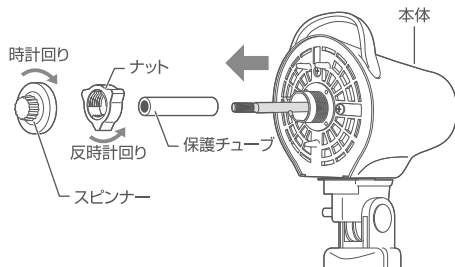
- 組み立て中に電源プラグをコンセントに差さないでください。
- パイプ固定ネジや高さ調節キャップはゆるまないようにしっかりと固定してください。



2. 後ろガードを取り付ける

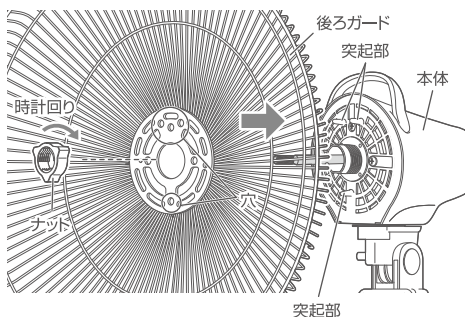
① スピナー、ナット、保護チューブを取り外す

出荷時、下記3部品が取り付けられていますので、取り外します。スピナーは時計回りに回すと外れ、ナットは反時計回りに回すと外れます。保護チューブは保管時に使用しますので、捨てずに保管してください。



② 後ろガードをはめ込み、ナットで締める

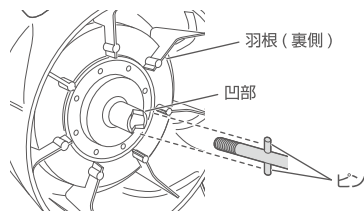
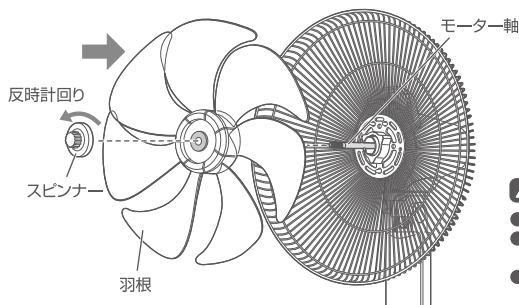
本体の突起部と後ろガードの穴を合わせてはめ込み、ナットを時計回りに回してしっかりと締めてください。



組み立てかた(つづき)

3. 羽根を取り付ける

羽根をモーター軸に通した後、羽根を押さえながらスピナーでしっかり締めます。



羽根取り付け時は、羽根の凹部とモーター軸のピンを合わせて取り付けてください。

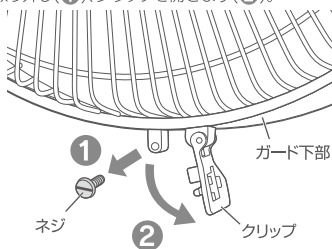
▲ 注意

- 羽根のふちで指などをケガしないよう注意してください。
- ガード止めのナットやスピナーは運転中にはずれないよう、しっかり締め付けてください。
- 羽根のシール(指入れ禁止)は剥がさないでください。(事故防止のための、法律で定められた表示です。)

4. 前ガードを取り付ける

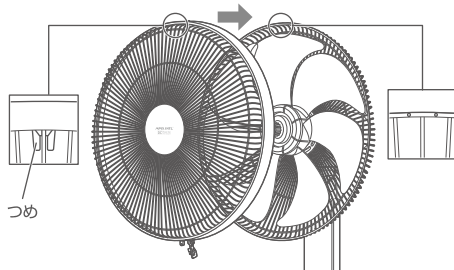
① クリップを開く

前ガードクリップ部のネジをドライバーで取り外し(①)、クリップを開きます(②)。



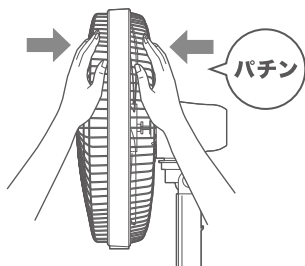
② 位置を合わせて前ガードを取り付ける

後ろガードの目印(2本線)の位置につめを差し込みます。



③ 外周をはめ込む

前ガードと後ろガードの止め部をクリップ周りから順にパチンというまではめ込みます。

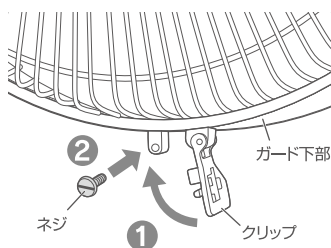


▲ 注意

指などを挟まないように注意してください。

④ クリップを閉じてガードを固定する

クリップを閉じ(①)、①で外したネジを元の穴にドライバーで固定します(②)。

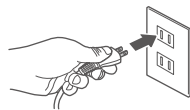


ご使用方法

電源プラグを家庭用(100V)コンセントに差し込みます。

電源プラグは、コンセントの根元まで確実に差し込んでください。

操作は、本体操作パネルとリモコンのどちらでもできます。



1. 各ボタンの設定

電源ボタン

運転開始・運転停止をします

- 電源プラグを抜かない限り、再度電源を入れると前回使用時の設定で運転を開始します。(入/切タイマー、おやすみ風モードを除く)

風量ボタン

風量の切替をします(1:微風~12:強風)

- [+]を押すと風が強く、[-]を押すと風が弱くなります。(最小:1/最大:12)
- 風量ボタンを押すごとに風量表示の数字が切り替わります。

モード風切替ボタン

モード風を切替えます

(連続→🌀:リズム風→🌙:おやすみ風→連続…)

- モード風切替ボタンを押すごとにモード風表示ランプが切り替わります。

▶詳しくは8ページを参照

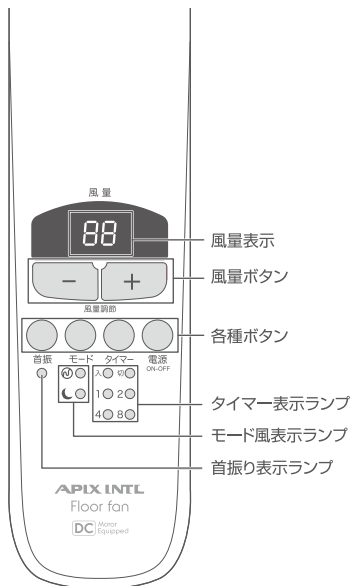
タイマーボタン

入/切タイマーを設定します

(1H→2H→4H→8H→解除→1H…の順)

- 設定した時間経過後に電源を入れたい/切りたい時に使用します。
- 入タイマーは、運転停止中に、切タイマーは運転中に操作できます。
- 入タイマーを設定する時にも、風量、モード風、首振りの設定ができます。
- タイマーボタンを押すごとにタイマー表示ランプが切り替わります。
- 時間の経過にともない、タイマー表示ランプが切り替わり残りの時間の目安を表示します。
- 設定を解除するにはタイマーボタンで解除するか、電源を入れなおしてください。

操作部



2. 首振り運転の設定

首振りボタン

首振り運転をします

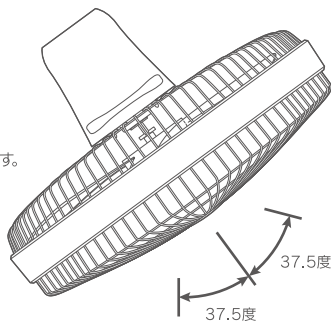
- 首振り停止中に押すと首振り表示ランプが点灯して、首振り運転を開始します。もう一度押すと首振り運転が停止し、首振り表示ランプが消灯します。
- 電源プラグを抜くと首振り設定はリセットされます。

自動首振り角度:75度(片側37.5度)

広範囲に風を送ることができます。

▲注意

- 首振り停止時、または運転中に無理に方向を切り替えたりしないでください。故障やケガの原因になります。
- 首振りをおこなうときは、周りにぶつかりそうなものがないか十分に確認してください。
- 万一首振りをしなくなった場合、直ちに運転を止め、弊社アフターサービス(P.13)までご連絡ください。



ご使用方法(つづき)

3. モード風と風量の設定

●各モード設定により、生活に順応した風を選択することができます

一定のリズムにより風量を変更して自然に近い、心地よい風を送ります。

各モード風は風量1～3の範囲で設定できます。

リズム風モード

モード切替ボタンで「:リズム風」にします。

●リズム風【弱】

モード切替ボタンで「リズム風」にして風量表示が【1】の場合。

●リズム風【中】

モード切替ボタンで「リズム風」にして風量表示が【2】の場合。

●リズム風【強】

モード切替ボタンで「リズム風」にして風量表示が【3】の場合。

おやすみ風モード

モード切替ボタンで「:おやすみ風」にします。

下記のようにリズム風を変更して運転します。

●おやすみ風【弱】

モード切替ボタンで「おやすみ風」にして風量表示が【1】の場合「リズム風:弱」を繰り返します。

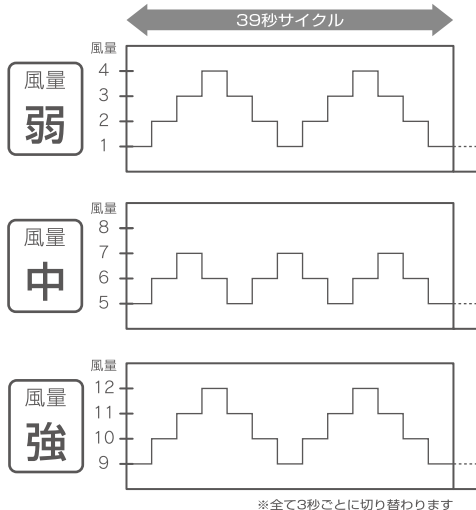
●おやすみ風【中】

モード切替ボタンで「おやすみ風」にして風量表示が【2】の場合「リズム風:中」30分→「リズム風:弱」が続きます。

●おやすみ風【強】

モード切替ボタンで「おやすみ風」にして風量表示が【3】の場合「リズム風:強」30分→「リズム風:中」30分→「リズム風:弱」が続きます。

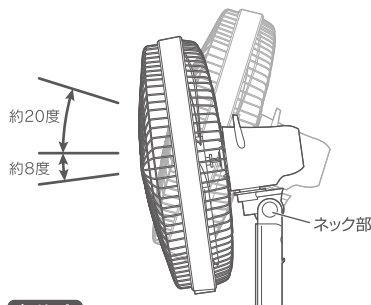
リズム風モードの動作



4. 上下風向き・高さを調節する

① 上下の角度を調節する

ネック部を軸に手動で上は約20度、下は約8度まで向きを調節することができます。

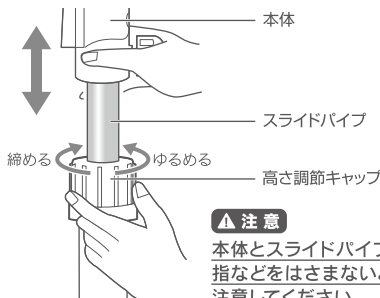


▲ 注意

無理に上下の角度を切り替えたり、引っ張ったり、荷重をかけたりしないでください。故障やケガの原因になります。

② 高さを調節する

片方の手で本体をしっかりと支え、高さ調節キャップを反時計回りに回転させてゆるめ、本体を手で持ち上げます。高さを決め、高さ調節キャップを時計回りに回転させてしっかりと締めつけてください。



▲ 注意

本体とスライドパイプの間に指などをささないよう十分に注意してください。

ケガをする恐れがあります。

お手入れ

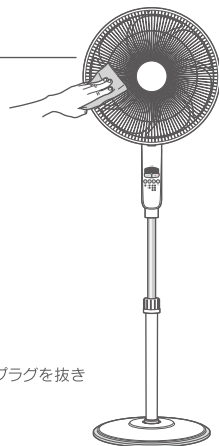
末永くお使いいただくために必ず定期的にお手入れをおこなってください。(1ヶ月に1回が目安)
お手入れ前に運転を停止して電源プラグを抜いてください。

1. 本体のお手入れ

汚れがついたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを布につけ、よく絞ってから拭くと
汚れが落ちやすくなります。

▲ 注意

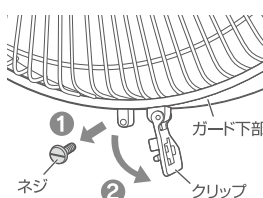
- シンナー・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・みがき粉は使用しないでください。
- 使用直後は、モーター軸などが熱くなっていますので、時間をおいてからお手入れをおこなってください。
- 羽根・ガード・ナット・スピナー以外は、水洗いをしないでください。故障や事故の原因になります。
- 本体内部に直接水や洗剤をかけて洗わないでください。感電や故障の原因になります。
- 長期間お使いになると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着する事がありますので、電源プラグを抜き乾いた布で拭き取ってください。



2. ガード内部のお手入れ

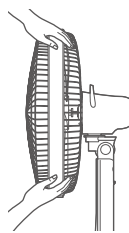
① クリップを開く

運転が完全に停止してからネジを外し(①)、クリップを開きます(②)。



② ガードのつなぎを外す

前ガードと後るガードの止め部を、クリップ周りにから順に外します。

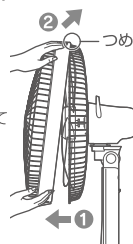


▲ 注意

外す際は、扇風機が転倒しないよう
しっかり本体を押さえて外してください。

③ 前ガードを外す

前ガード下側を
手前に引いた後
上部のツメを外し
ながら、斜め後ろに
持ち上げるようにして
外してください。

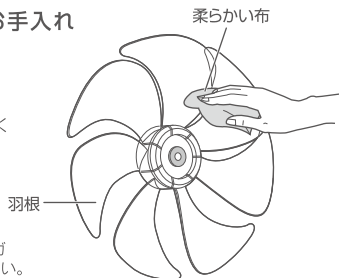


▲ 注意

外す時は必ず両手ではずしてください。
落下等で破損やケガの原因になります。

④ 羽根・ガードのお手入れ

柔らかい布やガーゼ等
から拭きしてください。
中性洗剤をぬるま湯で
薄めたものを布につけよく
絞ってから拭くと汚れが
落ちやすくなります。

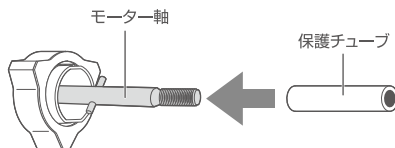


▲ 注意

羽根のふちで指などをケガ
しないよう注意してください。

⑤ モーター軸のお手入れ(収納)

保護チューブを取り付けます。
潤滑油などを塗っておくと、サビを防止することができます。



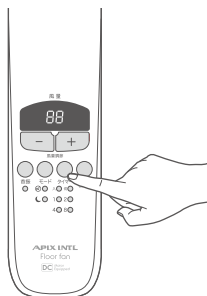
お手入れ(つづき)

⚠ その他の注意

電源ボタンを押す前に...

完全に組み立ててからお使いください。

羽根・ガード・スタンドベースなどの部品をつけずに「電源ボタン」を押して、運転をしないでください。

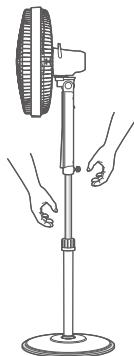


扇風機を移動する際は...

羽根が回転中は移動しないでください。

がたつきや、はずれかけの箇所がないか確認してください。

移動の際はスタンドポールなどを両手で持って、引きずらないよう移動してください。本体を引きずり移動すると床を傷めます。畳や傷つきやすい床の場所では特に注意してください。



保管について

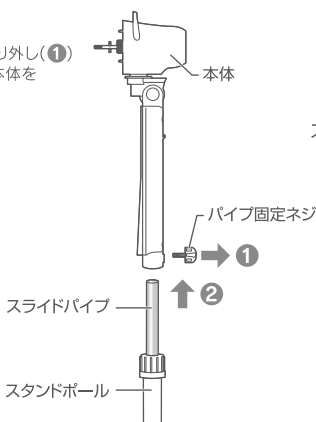
シーズン終了後は、必ずホコリを取るなどのお手入れを行ってから保管してください。

※前ガードの取り外し方は9ページを参照して下さい。

スタンド取り外し

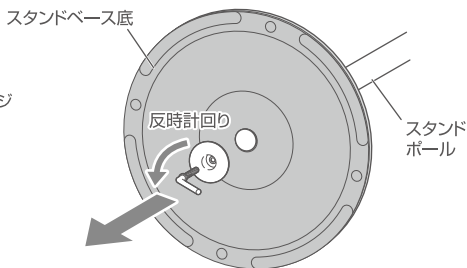
① 本体を外す

パイプ固定ネジを取り外し(①)スライドパイプから本体を取り外します(②)。



② スタンドベースからスタンドポールを引き抜く

底面の固定ネジを外し、スタンドベースからスタンドポールを引き抜きます。



⚠ 注意

- スタンドポールやベース、ガード、羽根などの取り外し中にケガをしないように注意してください。
- 本体や部品に付着した汚れをきれいに拭き取って保管してください。
- ビニール袋などに各部品を入れて、お買い上げ時の箱に入れて保管してください。
- リモコンは電池を抜いてから保管してください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に放置しないでください。変形や故障の原因になることがあります。

故障かな?と思ったら...

症 状	原 因	処 置・ 確 認
正常に運転しない	電源プラグが正しく差し込まれていますか?	コンセントに電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
	羽根は正しく取り付けられていますか?	羽根を正しく取り付けてください。(6ページ参照)
	ご家庭のブレーカーが落ちていませんか?	100V15A以上のコンセントに単独で使用してください。
異常音がる	羽根は正しく取り付けられていますか?	組み立て方(5~6ページ)を参照し組み立てに不備がないか確認してください。
	ガードは正しく取り付けられていますか?	
	スピナーがゆるんでいませんか?	
	羽根やモーター軸にホコリが溜まっていませんか?	お手入れをしっかりとこなしてください。(ホコリ等を取り除いてください)
リモコンがきかない	電池の残量が少なくなっていますか?	付属の電池はモニター用ですので早めに新しい電池と交換してください。
	本体との間に障害物などありませんか?	本体とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
	電池の(+)(-)向きは正しくセットされていますか?	電池の向きを確認して正しくセットしてください。
自動で運転を停止した	切タイマーで電源がオフになっていませんか?	設定した時間経過後に自動で運転を停止します。再度、電源を入れ直してください。

- 修理を依頼される際は、上記内容をお試しの上、ご連絡ください。
- 上記内容を全てお試しの上で直らない、またはそれ以外の不具合がおこった場合は弊社アフターサービス(13ページ参照)までご連絡ください。
- 安全に長くご愛用していただくために、日頃から点検をおこなってください。

仕様

品番	AFL-282R
品名	DCフローア扇風機
製品寸法	(約)W450×D400×H1190~1440mm
本体質量	(約)7.5kg
定格電圧/定格周波数	100V 50/60Hz
消費電力	30W
電源コード	(約)1.8m
リモコン電池	リチウム電池(CR2032/3V)×1個
首振り角度	左右:(約)75度自動 上下:(約)28度(上:20度/下:8度)手動
材質	本体:ABS樹脂、ポリプロピレン 羽根:AS樹脂 重り(スタンドベース底):ポリエチレン+セメント ガード・ポール:スチール

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

長期使用製品安全制度に基づく本体表示

本体に表示している【設計上の標準使用期間】とは、経年劣化により危害の発生が高まることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた内容の表示を行っています。


○設計上の標準使用期間とは？

右記の標準的な使用条件の下で、適切な取扱い、適切な維持管理により、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準期間を記しています。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証する期間ではありません。無償保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

○ご注意

(社)日本電機工業会が規格化した基準条件で算出した目安期間ですので、使用頻度、使用環境、業務用などで使用すると標準使用期間よりも短い期間で経年劣化する可能性があります。

 注意	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。点検のご用命は弊社アフターサービスまでご連絡ください。
---	---

(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3による【扇風機】

環境条件	電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	温度/湿度	30℃/65%±20%
	設置場所	取扱説明書による標準設置
負荷条件		定格負荷(風速)
想定時間など	運転時間	8時間/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

1.修理を依頼される時

- *保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参、または弊社にご連絡ください。保証書の記載内容により無料修理致します。
- *保証期間が過ぎている時は、弊社に連絡の上、ご相談ください。
- *保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、又は字句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

2.補修用性能部品の保有期間

- *この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.保証書について

- *保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- *保証期間はお買い上げ日から1年間です。

修理・部品購入のお問い合わせ

ご連絡していただきたい内容

- 品名
- 品番
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ具体的に）



2次元コード

修理に関するお問い合わせ

0120-350352

部品購入に関する
お問い合わせ

0587-22-5353

インターネット販売
Website* <PC>

www.apix-direct.jp

営業時間：(平日) 月曜日～金曜日
※祝祭日を除く

午前 10:00～11:30
午後 1:00～ 5:00

※混雑時には繋がりにくい場合があります。
繋がらない場合は下記番号におかけください。

予備回線：TEL.0587-38-5320

ご使用の回線(IP電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.